

なんとしても、日本の経済を立て直す!

日本経済が直面しているのは、世界のどの国も経験したことのない15年にも及ぶ「デフレ不況」です。安倍政権の取組みは、デフレの克服による景気回復と同時に、消費税率を上げながら財政再建を目指すという、未だかつて経験したことのない困難な挑戦です。

日本が誇る社会保障制度を次世代に引き渡し、子育て支援を充実させていくために消費税増税は必要ですが、さらなる増税が景気の腰を折り、税収減につながりかねません。安倍総理は熟慮の結果、**来年10月に消費増税は行わず、平成29年4月まで延期する**決断をしました。

国民生活を豊かにするためには、どんなに困難な道であろうとも、安倍総理の経済政策アベノミクスによる景気回復の道しかありません。

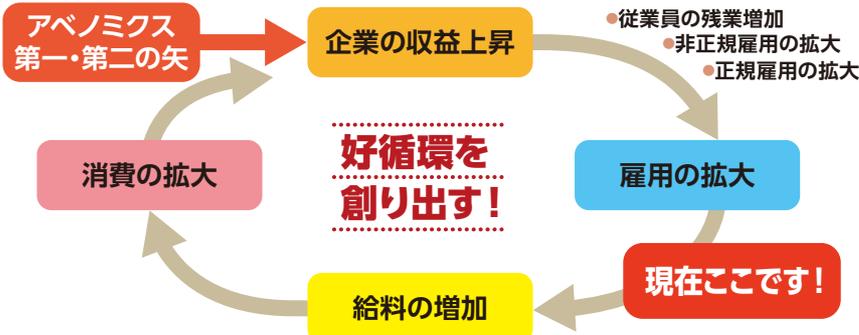
私たち自民党は、しっかりと、この道を前に進めていく決意です。



前衆議院議員のぶひで
武村展英
42才

現在
NOW

アベノミクスはまだ道半ば、 ようやくでてきた明るい「兆し」



景気回復は始まったばかり。効果の波及には時間が必要。アベノミクスの効果が波及するには「時間」が必要です。企業の売上が十分に上昇し、皆さんの給料が着実に上がり、景気回復を「生活で実感できる」その時まで、アベノミクスのこの流れを止めてはいけません。15年間苦しんできた暗い、混迷した時代に、逆戻りする訳にはいきません。

今後
NEXT

景気回復を《生活の実感》につなげ、《好循環》を創り出す!

子育て支援の充実!

行政、企業、地域社会のそれぞれが、子どもを生まやすい、育てやすい環境を整えます。待機児童を解消し、質の高い幼児期の学校教育・保育環境を提供します。幼児期の学校教育・保育に対する給付や、延長保育などの事業、地域の子育て支援のための事業、妊婦健診、児童手当などの給付・事業を、市町村から一元的に提供します。



女性がもっと能力を発揮できる環境を整備する!

新たに約30万人分の放課後児童クラブの整備や、企業における管理職など指導的地位への女性登用の促進、安価な家事サービスや、長時間労働の削減や在宅勤務の推進など、すべての女性が働き方、生き方など自分の希望を実現し、個性と能力を発揮できる「すべての女性が輝く社会」を実現します。



地方まで景気回復を波及させる!

地方が主役となり、地域の特性を活かし、地方自ら考え、責任を持って進める取組を推進します。企業の地方移転の後押しや、人材が大都市から地方に還流する仕組み、地域経済を支える中小企業、小規模事業者に対し、きめ細かい支援を行います。また、農林水産業の成長産業化を図り新たな人の流れを生み出します。



皆様の給料を上げる!

アベノミクスで経済成長の好循環を構築していくには、皆さんの給料が着実に上がっていく状況を創れるかが重要です。安倍政権では企業業績の向上による自主的な賃金アップだけでなく、税制の活用や、法整備、そして政労使会議を通じての賃上げ要請を行なうなどあらゆる手段を使って皆様の賃金アップを実現させます。



武村のぶひでの 熱い思い!

「自分の国は自分で守る」

拉致問題を早急に解決する!

国民の生命と財産を守るのは、国家の使命です。被害者のご家族の多くがご高齢となられ、残された時間は少なくなっています。日本独自の制裁を改めて検討するなど、「対話と圧力」のバランスを図ながら、特定失踪者を含む北朝鮮による拉致被害者の全容解明と早期帰国の実現に向けて、全力で働きかけを行います。

領土、領海、資源を守る!

中国船による大規模な領海侵犯による赤サンゴの密猟が行われています。200隻もの密漁船に対し、現場で対応する日本の海上保安庁の取締りには限界があります。今後は海上保安庁と海上自衛隊との連携を強化し、海上警備行動の発令を視野に入れた領土、領海の保全と天然資源の保護に取り組みます。

この2年間、誠実に、ひたむきに、仕事をしてきました。

湖南地域の問題解消にむけて 道路整備、河川改修を推進しています！

日本でも有数の交通渋滞が慢性化している湖南地域の渋滞解消に向けて、広域的な視点での道路整備を推進しています。

政権交代後、1号バイパスに42.6億円、8号バイパスに11.5億円、3区内の安全対策に2.2億円、野洲川の河川改修に2.8億円、滋賀県全体の河川改修に17.9億円の予算を計上しました。(24年度補正と25年度当初予算の合計)さらに野洲市内から竜王・近江八幡方面への渋滞解消にも取り組んで参ります。集中豪雨に備えるための河川改修も積極的に推進しています。

滋賀県湖南地域幹線道路整備計画図



湖南地域を世界最先端の医療の中核にするために動いています！

成人病センターは世界最先端の画期的な聴覚医療技術による「内耳再生医療」施設の開設を予定しています。

これにより世界中から患者や研究者が湖南地域を訪れ、国際的な、活気に溢れるまちづくりが期待されます。

現在、関連施設の整備に向けた国の支援・企業誘致等、最大限の働きかけを行います。

【病・産・学・官の連携による聴覚器医療の概要】



琵琶湖再生法の成立まで、あと一歩。

琵琶湖再生法が成立すると、様々な問題を国の予算から研究、対策を行えるようになります。議員連盟の事務局次長として、私が中心を担って準備を進めてきました。条文を完成させ、党内の調整もほぼ終えており、国会審議まであと一歩です。



オオバナミズキンバイの除去作業

《可決までの流れ》



全力で推進！ここまで進みました

私たちの郷土の誇りである琵琶湖の自然を守るため、国と県の連携を強化する法律です。



野洲市長と国土交通省に要請



草津市長と石破大臣に要請



守山市長と湖南地域の交通網の整備を要請



栗東市長と菅官房長官に要請

衆議院の委員会で 数多くの質問を行いました！

- 決算行政監視委員会 経営再建中の日本航空について、国の監督の不十分さを強く指摘し、改善を要請しました。
- 決算行政監視委員会 平成21年度からの決算審査の未了を指摘すると同時に、決算審査の早期化を要請しました。
- 科学技術・イノベーション推進特別委員会にて質問 次世代エネルギーに関する政府の取組み、先端技術を経済成長につなげる戦略について政府の見解を質しました。
- 経済産業委員会参考人質疑 消費税転嫁対策特措法について広報を強化することを訴え、改善を要請しました。
- 予算委員会第8分科会(国土交通省) 河川改修の整備率が未だ55%と極めて低い湖南地域の現状を訴え、改善を要請しました。



災害復旧に関して 関係省庁に対応を要請

平成25年の台風18号に伴う災害対応で地元と東京を往復し、関係する省庁に繰り返しヒアリングと要請を行い、復旧の取り組みを進めました。



銀行の休眠預金を難病や生活困窮者の支援に使える仕組みを進めています！

年間800億円以上に上る銀行等の休眠預金を福祉やNPO法人などに配分し、研究が進んでいない難病の創業研究や、生活困窮者の支援に役立てます。私を中心となって立法の作業を進めており、現在、条文までほぼ完成しています。



休眠預金の活用スキームを検討し、法制化を進めています。

難病の指定拡大を 実現！

難病の指定を、56種から300種に拡大し、患者さんの負担額も2割(上限3万円)への軽減を実現することができました。

無駄撲滅プロジェクトチームの一員として 予算の無駄削減に取り組んできました！

様々な予算の無駄を指摘し、改革のための提案を行いました。

<提案例>

- 東京オリンピックメーンスタジアムの総工費の削減。
- 年金事務所の納付率を、職員評価への反映を提案。
- 中小企業対策予算の効果検証の必要性を指摘。
- 銀行の貸出し促進のため、預貸率の目標設定を提案。
- 議員外交の派遣先がヨーロッパに偏っているため、戦略的な派遣先選定が行われていないことを指摘し、改善を要請。
- 外国の議長の日本訪問は42か国だが、日本の議長訪問は1か国だけであることを指摘し、改善を要請。



農業改革を推進！成長産業化し、経営としての農業を推進！

農業者の高齢化や後継者問題で、農業の将来は危機的状況だと言えます。競争力ある農業、魅力ある農業を創り、農業の成長産業化を実現するには、今後10年間で、既存農業者や新規参入者、農業団体等の経営感覚に溢れる新たな担い手を育成し、従来の枠組みを超えて精神的な事業展開を図るなど、積極的な農業改革が必要です。一方で、政府が主導する改革のスピードに地域の実状が追いついていません。私自信も農業経営アドバイザーとして、現場の声をしっかり聞き、制度の不備を修正しながら、農業の成長産業化を促進します。



「一隅を照らす」ような福祉政策に 現場の皆様の声を聞きながら、取り組んでいます。

障がい者施策

「障害者権利条約」を批准することができました。今後、障害者の権利・尊厳を守り、あらゆる差別の禁止、使いやすい公共施設などの改善を実現します。

生活困窮者の支援

生活困窮者自立支援法を制定し、早期の問題解決に行政が取り組めるようになりました。今後、全国で最も進んでいる野洲市の取り組みを進めていきます。

待機児童ゼロ、学童保育の充実

各地自体で待機児童をゼロに向けて、また放課後学童クラブの支援員の方々の待遇改善や研修制度や施設の充実にも取り組んでいます。消費増税の延期に伴う財源不足について、税収の上振れ分が活用できることを提案しています。

児童虐待の防止

私が政策秘書であった頃、最初の児童虐待防止法の制定に携わりました。今後も継続して取り組んでいきます。